

地域おこし協力隊通信 (No. 3) 星原小学校の児童と「山芋掘り」を体験

12月17日に星原小学校の児童8人と一緒に、山芋掘りを体験しました。

冷たい風が吹き込む星原小学校の校庭に集まり、星原むらづくり実行委員会（鮫島達会長）による山芋の講習会を受講。その後、前もって確認しておいた牧川集落の山で、山芋掘りがスタートしました。

土を掘り出していくと、そちらに芋は伸びていかなかったり「それじゃあ、こっちだろう」と誰かが言えば「いやこっちだ」と今度は、そっちを掘ってみると「ほら、それ見たことか!」。

そんな大人のやりとりを見ていると、子ども達も「僕はこっちだと思う」「私はあっちだと思おう」と意見を言い出し、大人が「やいやっ」と口を挟むと「山芋を折った人には言われたくない」とやり返す始末。

経験のあるなし、大人も、子どもも関係なし。芋が姿を隠すたびに、みんなが「あーだ、こーだ」とヒートアップしていきます。聞いていて心地がいい、言葉の応酬。これがまさに「山芋掘り」。どんどん穴を掘り進

めていくにつれ、みんなの心の垣根が取れ、次第に一体感が芽生えてきます。子どもと大人の距離がグッと近くなっていく様子は、寒空でも心が温かくなりました。

星原小学校は生徒数が少ないかもわかりませんが、このような活動を通じて一体感で「意見が言える人」に成長していつてくれるのではないかなと思いました。

「ちびっこ船頭」が多い山芋掘りは、見ていて楽しかったです。



みんな前のめりで試行錯誤



とろろご飯で頂きました

サンタがおうちにやってくる!!

町商工青年部が訪問

町商工会青年部が、12月24日に第10回クリスマス特別企画「サンタがおうちにやってくる!」を行いました。

これは、まちの商業活性化と地域振興を目的に、町内の指定店でプレゼントを購入した家庭を、サンタクロースに変装した部員が、クリスマスイブの夜にプレゼントを渡す企画で26軒を訪問。子どもたちはサンタとトナカイの突然の訪問にとっても喜びました。



地域の見守り

星原女性消防隊クリスマス訪問



星原女性消防隊（橋口まり子隊長）が、12月23日に一人暮らしの高齢者宅と福祉施設を訪問する見守り活動を行いました。

この日は、浜津協駐在所の警察官と民生委員も参加。クリスマスが近いこともあり、サンタクロースの姿に身を包み、11箇所を訪問しました。

同隊は、今後も一人暮らしの高齢者宅を訪問し、見守り活動を続けていきます。